株式会社ユピテル
YUPITERU

Aguilas

CAR SECURITY SYSTEM

# VE-S37RS
# VE-S36RS

取扱説明書 / 保証書

12V車専用

このたびは、ユピテルの CAR SECURITY SYSTEM をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、車内に装着し、衝撃や傾斜、ドアの開放を検知すると、光とサイレンの組み合わせにより警告・警報を発し、車上あらしや盗難を未然に防止する簡易型防犯装置です。また本機は、電波法第四条「適合表示無線設備」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロール用無線設備です。

※傾斜の検知は VE-S37RS のみとなります。
※オープンカーではご使用できません。

**⚠注意**

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられた後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

## ご使用の前に(安全上のご注意)

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。
また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分けし、説明しています。

⚠危険：危険内容を無視した取り扱いをすると、死亡または重症を負う高い可能性が想定されます。
⚠警告：警告内容を無視した取り扱いをすると、死亡または重症を負う危険な状態が生じることが想定されます。
⚠注意：注意内容を無視した取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる危険な状態が生じることが想定されます。

**絵表示について**

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。
☛ この記号は、関連する箇所を示します。

●センサーユニット用専用電池(ニッケル水素電池)について

**⚠危険**

- 分解、改造、はんだ付けしない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。
- ニッケル水素電池の端子部を針金などの金属で接続しない。また、他の金属と一緒に保管したり、持ち運びしない…ニッケル水素電池がショート状態となり、液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。
- 火の中に投入したり、過熱したりしない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。
- 釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。
- 万一、ニッケル水素電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

**⚠警告**

- ニッケル水素電池を濡らさない。また、濡れたニッケル水素電池を充電したり、使用しない…故障、感電、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。
- 濡れた手でニッケル水素電池をさわらない…感電の原因となることがあります。
- ニッケル水素電池が漏液したり、変色・変形、その他今までと異なることに気付いたときは、使用しない…発熱、発煙、破裂、発火の原因になる恐れがあります。

**⚠注意**

- ニッケル水素電池を充電するときは、取扱説明書をよくお読みください。
- 指定(専用ニッケル水素電池)以外の電池を使用しないでください。
- 火のそば、ストーブのそばなどで充電したり、放置しない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。
- ニッケル水素電池の被覆をはがさない…故障、感電、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。
- 乳幼児の手の届かないところに保管する。



**⚠警告**

- 水をつけたり、水をかけない。また、濡れた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。
- 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。
- 機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。
- 運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。
- 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
- 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
- エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグコード使用時に配線が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。
- 急発進したり急ブレーキをかけない…安全運転上、大変危険です。また、本体などの脱落・落下などによるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
- 車両のバッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。
- サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
- 医用電気機器の近くでは使用しない…植込み型心臓ペースメーカや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。

●本体について

**⚠警告**

- 車内に人(特に子供)やペットがいるときには、警戒状態にしない…警告・警報機能がはたらいた場合、大音量を発生しますので、聴覚障害やストレスを与える恐れがあります。
- 水をつけたり、水をかけない。また、濡れた手でシガープラグコードの抜き差しや操作をしない…火災や感電、故障の原因となります。
- 運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。
- 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。
- 機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。
- 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に確実に取り付ける…誤った取り付けや、不確実な取り付けはケガや交通事故の原因となります。
- 万一、本体が破損した場合は、すぐにシガープラグコードを抜き、内蔵電池を取り外す…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
- 車両のバッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。
- サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。
- シガープラグコードは確実に差し込む…シガープラグコードが確実に差し込まれていなかったり、異物が付着して接触不良を起こしていると、火災の原因になったり、正しく動作しないことがあります。
- 煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグコードを抜き、内蔵電池を取り外して、販売店に修理をご依頼ください。
- 12V 車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、電源コードが妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



**ご注意　電波法について**

- センサーユニット裏およびリモコンの技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。
- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

### 使用上のご注意

ご使用前にセンサーユニットに付属の専用電池を装着し、2時間以上充電してください。充電は、付属のシガープラグコードで本機とシガーライターソケットを接続し、車のエンジンをかけて(エンジンキーが ACC または ON)ください。
※警戒状態を長期間保つために、走行中に充電(常時シガーライターソケットに接続)することをお薦めします。

- 使用するときは、必ず車のウィンドウを完全に閉めてください。ウィンドウが開いていると、空気の振動や衝撃音を正しく検出できません。
- 音圧センサー搭載のセキュリティシステム装着車とは併用できない場合があります。警戒や解除操作でセキュリティシステムが警報を発することがあります。
- シガーソケットが常時電源になっている車では、降車時にシガーソケットからプラグを抜いていただくか、別売オプション OP-20 などを使用する必要があります。
- 車にボディカバーを被せて駐車する場合、ボディカバーによっては、電波を通しにくいものがあり、通信距離が短くなる場合があります。
- ボディカバーを被せた場合は、光や音が遮られるため、威嚇効果が十分に発揮できません。
- 強い雨や雹(ヒョウ)などが降ったときや、雨だれが車体にかかっているときにはウィンドウやボディへの衝撃を検知して警報する場合があります。また、地下駐車場など空調ファンの振動や音が発生している場所など、振動や騒音が発生している場所では、警報を発生する場合があります。

本機は、センサーにより異常を検知し、警告・警報を発する簡易型防犯装置で、盗難を完全に防止できるものではありません。
また、本機の動作の有無にかかわらず発生した盗難事故、イタズラなどによる損害、被害に対しての責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。

**⚠注 意**

窃盗犯は複数であったり、バールやハンマーなどを携帯している場合があります。
通報や警報で車両を確認する際は、慎重に対応してください。

## 1 各部の名称とはたらき

**センサーユニット**

※ECO充電
シガーライターソケットからの電源を供給できる状態のときは、走行中の充電に加え、駐車中もソーラーパネルから充電できます。

ソーラーパネル

MODE(モード)ボタン
警戒モードの変更や威嚇パターンの変更ができます。

技術基準適合証明ラベル
技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。
はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

スキャニングLED
10 のパターンから変更可能
(☛10 スキャニングLEDの威嚇パターンを変更する)
青　赤　緑　青　青

サイレン
音を出力します。(90dB/m)

感度設定スイッチ
衝撃感度を 3 段階(L/M/H)から選択できます。(☛14 衝撃感度の切り替え)
※強衝撃と弱衝撃の感度は連動して設定されます。(個別に設定することはできません)

DC12V ジャック(シガープラグ接続端子)
付属のシガープラグコードを接続して、シガーライターソケットから電源を供給し、センサーユニット専用電池への充電を行います。

電子傾斜センサー(内蔵)
セキュリティが警戒を開始したときからの傾斜角の変化を検出します。
※VE-S37RSのみ。

音圧センサー(内蔵)
ドアを開けたときやウィンドウ、ボディが強打されたとき、車内の空気の振動と衝撃音を検知します。

**リモコン**

アンテナ
電池カバー
液晶画面(バックライト搭載)
電源スイッチ
電源のON/OFFやボタンロックができます。
SETボタン
RESETボタン
ブザー

技術基準適合証明ラベル
001YVEXXXX 型式 DSXXXR ㈱ユピテル
機種名 VE-XXXXX S/No.XXXXXXXX
技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。
はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

リモコン表示について
- 液晶画面は点灯(点滅)後、バッテリーセーブのため消灯します。
- 気温が 0℃以下になると液晶表示が薄くなったり、表示されないことがありますが、セキュリティの警戒開始・警戒解除のリモコン操作や警告・警報の受信には問題ありません。

**シガープラグコード**

DCプラグ
電源コード(約3m)
シガープラグ(ヒューズ内蔵)
先端キャップを外す(反時計方向に回す)とヒューズを交換できます。(1A)
プラス端子
先端キャップ
マイナス端子

**⚠注意**

シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。

## 2 センサーユニットに専用電池を装着(交換)する

本機をご使用になる前に、付属の専用電池をセンサーユニットに装着してください。また2時間以上充電をしても、すぐにローバッテリーになる場合や充電ができなくなった場合は、販売店に「VE-S37RS(VE-S36RS)用のニッケル水素電池」でご注文のうえ、新しい電池を購入し、交換してください。

**装着(交換)手順**

**1 電池カバーの取り付けネジを外し、電池カバーを取り外す**

電池カバーを取り外すときは、ツメに注意して外します。

電池カバー

**2 本機のジャックに電池コネクタを差し込み、新しい電池を収納する**

ケーブルをガイドに収めて収納します。

電池コネクタ
ジャック
ガイド

**3 電池カバーを装着し、電池カバーの取り付けネジを締める**

**ニッケル水素電池を外すときは(交換時など)**

電池カバーを外してから、ニッケル水素電池を外します。

**⚠注意**

本機は、専用のニッケル水素電池を使用しています。安全のため、専用電池以外は使用できません。

**お願い**

本機は、リサイクル可能な電池(ニッケル水素電池)を使用しています。不要になったニッケル水素電池は、端子部をテープなどで絶縁して(端子部の金属が露出していない場合は除く)最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。
- リサイクル協力店については、一般社団法人JBRCのホームページ(http://www.jbrc.net/hp)をご参照ください。

Ni-MH
ニッケル水素電池はリサイクルへ

## 保 証 書
(持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

| 品　番 | VE-S37RS/VE-S36RS | |
|---|---|---|
| S/No. | | |
| お買い上げ日 | 年　月　日<br>お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。 | |
| 保証期間 | お買い上げの日より1年<br>(電池などの消耗部品は除く) | |
| お客様 | お名前 | 様 |
| | ご住所 | 〒<br>TEL(　　　) |
| 販売店 | 店名・住所 | 上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名などを証明するものを、お貼りください。 |

無効

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書などの注意書にしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の移動、落下などによる故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
（ニ）特殊な条件下など、通常以外の使用による故障及び損傷
（ホ）故障の原因が本製品以外にある場合
（ヘ）本書のご提示がない場合
（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（チ）付属品や消耗品などの消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

| 故障内容記入欄 |
|---|
| |

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

株式会社 ユピテル
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS1386-A

## 3 センサーユニットを取り付ける

※ VE-S36RS はマジックテープでの取り付けになります。

**ダッシュボードに直接取り付ける**

ソーラーパネルに太陽光が良く当たる場所に取り付けてください。ソーラー充電の効率が上がり、連続して警戒できる時間が長くなります。取り付ける前に専用電池を装着してください。
(☛ 2 センサーユニットに専用電池を装着(交換)する)
- ピラーから最低5cm以上離してください。通信距離に影響します。
- あらかじめ、貼り付ける場所のチリや汚れ、脂分をよく落とした後、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。

**1 電池カバーに粘着マットまたは、マジックテープを取り付ける**

粘着マットまたはマジックテープ

**2 アンテナを立て、直射日光の当たりやすい場所に取り付ける**

進行方向

**粘着マットについて(VE-S37RS のみ)**

強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できますが、はがしても接着剤などの跡が残りにくいのが特長です。

**●粘着マットの上手な使いかた**

粘着マットは、両面テープなどと比べるとはがしやすい反面、傾斜した面やダッシュボードの表面の素材や状態によっては、貼り付きにくく安定しないことがあります。
- 粘着マットの保護シートをはがす前にダッシュボード上に仮置きし、地面に対しなるべく水平な場所にあるかをご確認ください。
- 粘着マットで安定した取り付けができない場合は、同梱のマジックテープを使用するか、市販の強力型両面テープを使用し、固定してください。
- 粘着マットの表面に付着したホコリや汚れなどは、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元し、再度使用することができます。

**⚠警告**

- エアバッグの上に取り付けないでください。万一のとき動作したエアバッグで飛ばされ、事故やケガの原因となります。
- 自動車の運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

**⚠注意**

取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります。

※まれに、ダッシュボードが変色・変形(跡が残る)することがありますが、あらかじめご了承ください。

## 4 センサーユニットを充電する

お買い上げ時、センサーユニットの専用電池は充分に充電されていません。初めてお使いになるときや長期間お車をご使用にならなかった場合は、下記手順で充電を行ってください。
※ 12V車専用です。DC12V以外では使用できません。

**1 付属のシガープラグコードを、DC12V ジャックと車のシガーライターソケットに差し込む**

差し込みにくい場合、シガープラグコードを、2～3 回左右にひねりながら差し込みます。

**2 車のエンジンをかけて、充電する**

本機は、シガーライターソケットに接続しておくことで、車の走行中(エンジンキーが ACC または ON)に充電されます。

**充電時間の目安**
電池の状態に応じて急速充電、またはトリクル充電を行い、約2時間でフル充電されます。
1時間以上の充電で、本機をご使用になれますが、満充電にはなりません。

※急速充電は充電電流が大きくなり、ケースの一部が多少熱くなりますが故障ではありません。

**⚠注意**

- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、新しいヒューズ(1A)と交換してください。シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
- 交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

**メモ**

シガープラグの形状が合わない場合や、シガーライターソケットに常時電源が供給される車は、別売 OP-20 をエンジンキーに連動して ON/OFFする電源(アクセサリ電源)に接続して、ご利用ください。
常時、電源が供給されている状態では、警戒できません。

## 5 ソーラー充電について

本機はシガーライターソケットからの充電(約2時間)で約1カ月(※)の連続した警戒が可能です。ソーラー充電は連続した警戒動作を維持するため、警戒中に消耗した電池を補助的に充電するものです。

※連続警戒時間は、1日3時間の日照時間で威嚇パターン1を選択した状態のときに、週2回のドア開警報が発生した場合を想定した時間です。

**メモ**

天候や警報の発生頻度によっては、充電不足となることがあります。
また、本機はソーラー電卓などと違い、ソーラーパネルのみでの駆動はできません。専用の充電池を必ず接続してお使いください。

**上手な充電方法**

**ソーラーパネルに太陽光がよく当たる場所に取り付ける**

駐車するときは、ソーラーパネルに直射日光がよく当たるように、南向きに駐車するように心がけてください。効率の良い充電ができます。

初めてご使用になるときは、付属のシガープラグコードを接続し、2時間以上、エンジンをかけた状態で充電してください。

## 6 リモコンの電源をON(OFF)にする

お買い上げ時など、ご使用前に電源をONにしてご使用ください。

### 電源を ON にする

**電源スイッチをONの位置にする**

『ドミソド』が鳴ります。

センサーユニットと通信を行い、バックライトが点灯し、警戒状態をお知らせします。
- 警戒解除中：『ピュピュ』
- 警戒中：『ピュ』(サイレントモード ON 時は『ピューピュ』)

**メモ**

センサーユニットと通信ができなかった場合は、『ピュピュ』が鳴り、受信状態表示はありません。

### 電源を OFF にする

**電源スイッチをOFFの位置にする**

**ボタンロックについて**

電源スイッチを LOCK の位置にすると、ボタン操作をロックすることができます。
※警告 / 警報の通知は受信可能です。

ON/LOCK/OFF

## 7 リモコンの表示について

①受信状態表示
リモコンの受信時に電波の受信状態(強さ)を表示します。

| 表示 | 状態 | 説明 |
|---|---|---|
| (アンテナ3本) | 強 | 最適な受信状態にあります。 |
| (アンテナ2本) | 良好 | 本機操作や通報の受信は、ほぼ問題なく行えます。 |
| (アンテナ1本) | 弱 | 本機操作や通報は受信できますが、通信エラーが発生することがあります。 |
| 非表示 | 圏外 | 本機操作や通報を受信できない状態です。 |

②送受信表示
電波の送信時や受信時に矢印を表示します。

| 表示 | 説明 |
|---|---|
| ➡ | 電波の送信中であることをお知らせします。 |
| ⬅ | 電波の受信中であることをお知らせします。 |

③サイレントモード表示
センサーユニットのサイレンを鳴らさない設定時(サイレントモード ON 時)に表示します。

④電池残量表示
リモコンの電池容量を 3 段階で表示します。

| 表示 | 説明 |
|---|---|
| (3目盛) | 電池残量が十分な状態です。 |
| (2目盛) | 電池残量が少なくなっている状態です。 |
| (1目盛) | 電池残量がほとんど残っていない状態です。電池を交換してください。 |

⑤警戒表示
セキュリティの警戒を開始すると表示し、セキュリティの警戒を解除すると消灯します。

⑥警報回数表示
警戒を開始してからの警報回数を表示します。
(☛ 12 警戒中に異常を検知すると(警告・警報と通報))

⑦警告 / 警報表示
警戒中にドアが開いた場合や衝撃などを検知したときに表示します。
(☛ 12 警戒中に異常を検知すると(警告・警報と通報))

| 表示 | 検知 | 種別 | 説明 |
|---|---|---|---|
| (アイコン) | 弱衝撃 | 警告 | ウィンドウやボディに弱い衝撃を受けたときに表示します。 |
| (アイコン) | 強衝撃 | 警報 | ウィンドウやボディに強い衝撃を受けたときに表示します。 |
| (アイコン) | 傾斜 | 警報 | 車両が傾いたときに表示します。<br>※ VE-S37RS のみ |
| (アイコン) | ドア開 | 警報 | ドアが開かれたときに表示します。 |

## 8 通信エリア確認

リモコンで通報(通知)を受信できるエリア(無線が届く範囲)を確認することができます。ご自宅と駐車場が離れている場合など、通信エリアの確認信号が受信できることをご確認のうえ、ご使用ください。

**操作**

**エンジンキーを OFF 後、警戒に入るまでに(約 1 分以内に)センサーユニットの MODE(モード)ボタンを『ピーピーピピッ』が鳴るまで 5 秒以上押す**

センサーユニットから通信エリアの確認信号が定期的に送信されます。(約10分間)

| 通信距離の目安(当社測定値) | |
|---|---|
| 都市部(ビル街) | 150m〜300m |
| 郊外(住宅街) | 300m〜600m |

**ご注意**

実用通信距離は一般的な電波環境での目安であり、通信距離をお約束するものではありません。電波の届かない地下や屋内では表記通信距離より短くなることがあります。

**確認**

**リモコンから約 5 秒ごとに『ピッ』が鳴り、受信状態が表示される**

受信状態表示　ピッ

通信ができるエリア内にいると『ピッ』が鳴り、電波の受信状態をリモコンに表示します。30 秒以上音が鳴らない場合は通信圏外です。このような場合は、リモコンの置き場所を移動して確認してください。

※通信圏外では通報を受信できません。

10 分経過またはセンサーユニットの MODE(モード)ボタンを3秒以上押す、エンジンキーを ACC にすると終了し、警戒モード確認音が鳴ります。(☞ 9 本機の機能を設定する)

自動警戒モードがONの場合、通信エリアの確認終了後、自動的に警戒を開始します。

※エンジンキーを ACC にして終了する場合は、シガープラグコードの接続が必要です。

**メモ**

最初の通信エリア確認信号の送信から 10 分経過すると確認信号の送信を停止します。自動警戒モードに設定している場合は、確認信号の送信終了の約1分後に警戒を開始します。

※シガープラグコードを接続していない場合は、警戒を開始しません。

## 9 本機の機能を設定する

**自動警戒モードについて　お買い上げ時 ON**

本機はリモコン操作による警戒のほか、自動的に警戒する自動警戒モードを搭載しています。自動警戒モードをONに設定すると、エンジンキーをOFF後、ドアを閉めることにより自動的に警戒を開始します。

※自動警戒モードはシガープラグコードを接続している場合のみご使用になれます。

**メモ**

- ドアを閉めたことを検出できなかった場合や車を降りなかった場合は、エンジンキーをOFF後、約 1 分経過すると、自動的に警戒を開始します。
- 警戒を開始したくない場合は、エンジンキーを OFF 後、リモコンのRESETボタンを押してください。

| 自動警戒モード OFF | リモコン操作で警戒を開始する |
|---|---|
| 自動警戒モード ON | エンジンキーを OFF 後、ドアを閉めると警戒を開始する |

**サイレントモードについて　お買い上げ時 OFF**

異常を検知した場合でもセンサーユニットのサイレンを鳴らさない警戒モードです。近所迷惑を気にすることなく、リモコンへの通報およびスキャニング LED の威嚇による警戒ができます。

| サイレントモード OFF | サイレンを鳴らす |
|---|---|
| サイレントモード ON | サイレンを鳴らさない |

※ 音圧センサー搭載のセキュリティシステムと併用した場合、警戒、解除の際の作動音でセキュリティシステムが反応し、警報を発することがあります。このような車両ではサイレントモードでご使用ください。

**警戒モードの変更手順(自動警戒モード・サイレントモードの ON/OFF)**

**1** エンジンキーを OFF 後、警戒に入るまでに(約 1 分以内に)センサーユニットの MODE(モード)ボタンを押す

**2** MODE(モード)ボタンを押して、お好みの警戒モードを選択する

MODE(モード)ボタンを押すたびに警戒モード確認音が鳴り、警戒モードが変わります。

| 警戒モード確認音 →『ピッ』お買い上げ時の設定 | 警戒モード確認音 →『ピピッ』 | 警戒モード確認音 →『ピーピッ』 | 警戒モード確認音 →『ピーピピッ』 |
|---|---|---|---|
| ●自動警戒モード→ON ●サイレントモード→OFF | ●自動警戒モード→ON ●サイレントモード→ON | ●自動警戒モード→OFF ●サイレントモード→OFF | ●自動警戒モード→OFF ●サイレントモード→ON |

※シガープラグコードの接続がない場合は、破線の動作となります。

※自動警戒モード ON を設定しても、シガープラグコードを接続していないときは自動で警戒状態にはなりません。

**3** 5 秒以上ボタン操作をしない、またはエンジンキーを ACC にして決定する

※エンジンキーを ACC にして決定する場合は、シガープラグコードの接続が必要です。

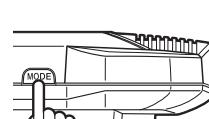
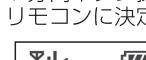
※自動警戒モード OFF に設定した場合は、リモコンから『ピュピュ』が鳴り、サイレントモード表示をして設定が確定したことをお知らせします。

※警戒モードは設定を変更しない限り、設定したモードで動作します。

**メモ** いずれの警戒モードを選択していても、異常検知時には、リモコンへの通報を行います。

## 10 スキャニング LED の威嚇パターンを変更する



威嚇パターンを 10 パターンの中から選択できます。

**威嚇パターン変更手順**

**1** エンジンキーを OFF 後、警戒に入るまでに(約1分以内に)MODE(モード)ボタンを『ピーピーピッ』が鳴るまで 3 秒以上押す

**2** MODE(モード)ボタンを押して、お好みのパターンを選択する

MODE(モード)ボタンを押すたびに『ピッ』が鳴り、パターンが変わります。
パターン 10 の状態で MODE(モード)ボタンを押すと『ピー』音が鳴り、パターン 1 に戻ります。

**3** MODE(モード)ボタンを 3 秒以上押す、またはエンジンキーを ACC にして、威嚇パターンを決定する

1 分間ボタン操作が行われなかった場合は、表示中の威嚇パターンで決定します。
リモコンに決定した威嚇パターンを表示します。

決定した威嚇パターン

※エンジンキーを ACC にして決定する場合は、シガープラグコードの接続が必要です。

**メモ**

セキュリティが警戒中に、選択したパターンで定期的に点滅し、威嚇効果を発揮します。

※ 消費電流は、パターン 1 が最も少なく、パターン 10 が最も多くなります。

※ 連続で警戒可能な時間は、パターン 1 が最も長くなります。

| 連続で警戒可能な時間の目安(当社測定値) | |
|---|---|
| パターン 1 | 約4週間 |
| パターン 10 | 約2週間 |

※連続警戒可能時間は、使用状況により変わります。あらかじめご了承ください。

**威嚇パターン一覧**

※1 表示のパターンが 2 周連続して点滅します。
※2 表示のパターンが 4 周連続して点滅します。

## 11 警戒を開始する

**自動で警戒を開始する**

自動警戒モードをご使用になる場合は、あらかじめ、シガープラグコードを接続して、自動警戒モードを ON に設定してください。(☞ 9 本機の機能を設定する)

**1** すべてのウィンドウを完全に閉める

**2** エンジンを切る

エンジンキーをOFFにすると、現在の警戒モード音が鳴り、スキャニングLED の青色が点滅して、警戒可能な状態にあることをお知らせします。

※センサーユニットの電池容量が少ないときはセンサーユニットから『ブブッ ブブッ ブブッ』が鳴り、警戒できません。

**3** 降車後、ドアを閉める

**メモ**

- ドアを閉めたことを検出できなかった場合や車を降りなかった場合は、エンジンキーを OFF 後、約 1 分経過すると、センサーユニットから『ピピピ・・・』の連続音が 5 秒間鳴ります。『ピュ』(サイレントモード ON 時は無音) が鳴ると、警戒を開始します。
- 警戒を開始したくない場合は、エンジンキーを OFF 後、リモコンの RESET ボタンを押してください。

**リモコンで警戒を開始する**

リモコンの操作で警戒を開始することができます。

**リモコンの SET ボタンを押す**

『ピュ』が鳴り、➡ が点滅します。

**■リモコン使用時の注意**

- リモコンのアンテナを手で覆わないでください。
- リモコンは、垂直に立てて操作してください。
- リモコンにチェーンやカギ、金属アクセサリーなどを付けていると、通信エラーを発生する場合があります。

リモコン操作をしたときに、センサーユニットからの信号が受信できないとリモコンからエラー音『ピー』が鳴り、エラー表示を行います。

ピー

このような場合は、場所を変えてもう一度リモコン操作を行ってください。

**リモコン操作または自動警戒モードにより警戒を開始すると・・**

●センサーユニット
『ピピピ…』が 5 秒間鳴った後『ピュ』(サイレントモード ON 時は無音)が鳴り、警戒を開始します。
スキャニング LED が設定されたスキャニング動作を行います。

●リモコン
『ピュ』が鳴り、警戒の開始をお知らせします。(サイレントモード ON 時は『ピューピュ』)液晶画面に SET を表示します。

サイレントモード OFF時　ピュ
サイレントモード ON 時　ピューピュ

※ SET は、自動警戒モード ON 時は点滅し、自動警戒モード OFF 時は点灯してお知らせします。

## 12 警戒中に異常を検知すると(警告・警報と通報)

次のような動作や通報を行います。

| | ウィンドウやボディに弱い衝撃を受けたとき(警告) | 車両が傾いたとき(警報) | ウィンドウやボディに強い衝撃を受けたとき(警報) | ドアが開かれたとき(警報) |
|---|---|---|---|---|
| センサーユニット | 『ピュー』が1回鳴ります。 | 『ピューピュー』が 2.5 秒おきに約 1 分間鳴ります。 | 『ピューピューピュー』が 2.5 秒おきに約 1 分間鳴ります。 | 『ピューピューピューピュー』が 2.5 秒おきに約 2分間鳴ります。※最初の 3 回は短い警報が鳴ります。 |
| スキャニング LED の青色 | 1 回点滅をします。 | 2 回点滅を 2.5 秒おきに約 1 分間繰り返します。 | 3 回点滅を 2.5 秒おきに約 1 分間繰り返します。 | 4 回点滅を 2.5 秒おきに約 2 分間繰り返します。 |
| リモコン | 『ピュー』が鳴り、液晶画面にアイコンを表示します。<警告表示> | 『ピューピュー』が 2.5 秒おきに約 1 分間鳴り、液晶画面にアイコンと警報回数を表示します。<警報表示> | 『ピューピューピュー』が 2.5 秒おきに約 1 分間鳴り、液晶画面にアイコンと警報回数を表示します。<警報表示> | 『ピューピューピューピュー』が 2.5 秒おきに約 2分間鳴り、液晶画面にアイコンと警報回数を表示します。<警報表示> |

※車両が傾いたときの通報は VE-S37RS のみとなります。

**ご注意** リモコンの電池が消耗し、残量表示が ▯ の場合、通報音やリモコン操作音が鳴らなくなり、バックライトも点灯しなくなります。

**警報回数の表示について**

センサーユニットからの警報を受信すると、警戒を開始してからの警報回数と警報内容をリモコンに表示します。
警報回数は、最大 10 件までお知らせします。

警報回数の表示
(警報が 3 件目の場合)

※弱い衝撃は回数に加算されません。
※警報回数は、10 件目以降は "9" を点滅表示します。
※警報回数は、警戒を解除すると消去されます。

**警報確認について**

警戒中に SET ボタンを押すと、警報の回数と最後に受信した警報内容をリモコンに表示します。

※警報内容は、最後に受信した警報のみ確認できます。それ以前の警報はさかのぼって確認することができません。

※警戒を解除する、または電源を OFF にすると、警報回数や警報内容は消去されます。

| 警報ありの場合(例) | 警報なしの場合 |
|---|---|
| | |

## 13 警戒を解除する(警戒の解除と警報の停止)

**警戒の解除**

警戒中にリモコン操作またはエンジンキーで警戒を解除できます。

**●リモコン操作による警戒解除**

**RESET ボタンを押す**

『ピュピュ』が鳴り、➡ が点滅します。

**●エンジンキーによる警戒解除**

**エンジンをかける(エンジンキーをACCまたはONにする)**

※シガープラグコードを接続していないと警戒を解除できません。

**警戒を解除すると・・・**

●センサーユニット
『ピュピュ』(サイレントモードON時は無音)とスキャニング LED の青色が 3 回点滅します。

●リモコン
『ピュピュ』が鳴り、警戒の解除をお知らせします。リモコンの液晶画面の SET が消えます。

リモコン表示　ピュピュ

※警戒中に警報があった場合は、警報の回数と最後に受信した警報内容を表示します。

**警報動作の停止**

警報中にリモコンの操作を行うことで、リモコンの警報表示や音、センサーユニットの警報動作を停止できます。

**●リモコンの警報動作を停止**

**リモコンの SET ボタンまたは RESET ボタンを押す**

※リモコンの警報表示と音のみ停止します。

続けて

**●センサーユニットの警報を停止してそのまま警戒状態にする**

**リモコンの SET ボタンを押す**

※警報の回数と受信した警報内容を表示します。

**●センサーユニットの警報を停止して警戒を解除する**

**リモコンの RESET ボタンを押す**

※警報の回数と受信した警報内容を表示します。

**ご注意**

リモコンのボタンロック中は、操作できません。電源スイッチを ON の位置にして操作してください。

## 14 衝撃感度の切り替え

頻繁に衝撃による警告や警報が鳴ったり、反応が悪い場合は、衝撃感度を変更してご使用ください。

センサーユニット側面の感度設定スイッチで衝撃感度の設定ができます。

※ 駐車場周囲の環境や車に合わせて衝撃感度を選択してください。

※ 周囲の環境により頻繁に警報が鳴るような場合は、下記の内容をご確認ください。
- 感度を下げて確認してください。
- エアコンの吹き出し口が外気導入になっている場合、内気循環にしてください。

※ 強衝撃と弱衝撃の感度は連動して設定されます。(個別に設定することはできません)

L (低感度)
…往来の多い道路に面した駐車場などでのご使用に適した感度です。

M (通常感度):お買い上げ時
…一般的な住宅地環境での使用に適した感度です。

H (高感度)
…静かな住宅地環境での使用に適した感度です。

SENS　L M H

## 15 ローバッテリー通知について

センサーユニットの電池容量が低下すると、リモコンに通知します。
センサーユニットの電池容量が低下していると、警戒を開始できません。

**センサーユニットの電池容量が低下すると…**

| センサーユニット | リモコン |
|---|---|
| <警戒中> リモコンに電池容量の低下をお知らせします。※警戒は継続します。 | <警戒中> • 音『ブブッ ブブッ ブブッ』 • 表示 |
| <警戒解除中> センサーユニットから『ブブッ ブブッ ブブッ』が鳴り、リモコンに電池容量の低下をお知らせします。 | <警戒解除中> • 音『ブブッ ブブッ ブブッ』 • 表示 |

**さらに電池が消耗すると…**

| センサーユニット | リモコン |
|---|---|
| <警戒中> • 警戒を解除します。 • リモコンに警戒解除を通知し、すべての操作が行えません。 | <警戒中> • 音『ピュピュ』の後、続けて『ブブブッ ブブブッ ブブッ』 • 表示 |
| <警戒解除中> • センサーユニットから『ブブブッ ブブブッ ブブッ』が鳴り、リモコンに通知後、すべての操作が行えません。 | <警戒解除中> • 音『ブブブッ ブブブッ ブブブッ』 • 表示 |

**ご注意**

電池が消耗してローバッテリー通知があったときは、必ずシガープラグコードを使って 2 時間以上充電をしてください。ソーラー充電では満充電できません。

## 16 リモコンの電池交換

リモコンの電池残量表示が ▯ になったら、電池寿命です。早めに新しい電池(CR2032:2個)と交換してください。

※ 本機リモコンには工場出荷時、電池を装着してありますが、この電池はモニター用のリチウム電池のため記載されたリチウム電池寿命より短い期間で切れることがあります。
電池を交換する場合は、リモコンの電源を OFF にし、下記手順で電池を交換してください。

**1** 電池カバーを開ける

**2** 電池を取り出す

ここにボールペンなど、先の細いものを差し込む

**3** 電池(CR2032)を、⊕側を上向きにして入れる

※ リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

**4** 電池カバーを閉める

**■電池寿命の目安**

1 日に 8 回のボタン操作で約 5 カ月使用できます。(当社測定値)

**⚠警告**

使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のためリモコンのリチウム電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

**⚠注意**

- リチウム電池の寿命は使用する条件によって異なります。
- 指定の電池(CR2032)以外は使用しないでください。
- 交換するときは、必ず 2 つとも新しい電池と取り替えてください。また、交換時には電池の向きを間違えないようご注意ください。

## 17 こんなときは?

故障かな?と思われた場合や困ったときは、下記をご参照ください。それでも解決できない場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

| こんなときは | 処　置 |
|---|---|
| センサーユニットから『ブブッ ブブッ ブブッ』が鳴る | • センサーユニットの電池容量が低下しています。シガープラグコードを使って2時間以上充電を行ってください。 |
| 充電できない | • 電池が消耗してローバッテリー通知があったときは、必ずシガープラグコードを使って2時間以上充電をしてください。ソーラー充電では満充電できません。 • シガープラグコードで充電できないときは、シガープラグコード内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。 |
| 警戒を開始できない(スキャンニング動作にならない) | • センサーユニット内蔵電池のコネクタが外れていませんか。電池の接続を確認してください。 • エンジンキーがOFFの位置になっていますか。 |
| 警告・警報しない | • サイレントモードに設定されていませんか。(☒ 9 本機の機能を設定する) |
| センサーユニットからの通報を受信できない | • センサーユニットのアンテナの近くに金属(ピラー)などがあると、通信距離が短くなります。金属部より5cm以上離れた場所に取り付けてください。センサーユニットのアンテナの角度を調整することで、通報を受信しやすくなる場合があります。 • リモコンのアンテナを手で覆っていませんか。 • 周囲の電波状況によっては、センサーユニットの電波がリモコンに届かない場合があります。 |
| リモコンで操作できない | • リモコンの電源がONになっていますか。(☒ 6 リモコンの電源をON(OFF)にする) • リモコンの電池容量が低下していませんか。(☒ 16 リモコンの電池交換) • リモコンのアンテナを手で覆っていませんか。 • ボタンロックになっていませんか。電源スイッチを ON の位置にしてください。(☒ 6 リモコンの電源を ON(OFF)にする) • 車と離れすぎていませんか。 • キーでエンジン始動していませんか。 |
| リモコンを追加したい | • 使用できるリモコンは、1 台のみになります。紛失や破損の際は、「VE-S37RS(VE-S36RS)用のリモコン」でお買い上げの販売店にご注文ください。 |
| 自動警戒モード設定中にガソリンの給油や荷物の積み下ろしなど、警戒状態になったら困る | ―エンジンキーをOFFにしてから、次のいずれかの操作を行ってください― • リモコンのRESETボタンを押してください。警戒は開始されず、自動警戒モードを一時的にOFFにできます。 • センサーユニットのMODE(モード)ボタンを押して、自動警戒モードをOFFにしてください(『ピーピッ』、『ピーピピッ』を選択する)(☒ 9 本機の機能を設定する) |
| エンジンスターターと併用する場合は | • 付属のシガープラグコードを接続し、自動警戒モードをONにしてご使用ください。警戒中にエンジンがかかると(ACCがONになると)警戒を解除し、アイドリングが終了すると約1分後に警戒状態になります。 |

## 18 仕 様

**【センサーユニット】**

| | |
|---|---|
| • 電源電圧 | DC12V(入力電圧) |
| • 使用電池 | DC3.6V(専用ニッケル水素電池) |
| • 送信周波数/出力 | 420MHz帯/1mW以下(電波法適合品) |
| • 消費電流 | 充電中… 急速充電:約270mA(最大) トリクル充電:約70mA 警戒中… 約3mA(VE-S36RS は約 2.5mA) 警報中… 約500mA |
| • 警報音圧 | 90dB/m(サイレン) |
| • 動作温度範囲 | −20℃〜+85℃ |
| • 本体外形寸法 | 67(W)×29(H)×105(D)mm(アンテナ含まず) |
| • 本体重量 | 118g(電池含む) |

**【リモコン】**

| | |
|---|---|
| • 使用電池 | リチウム電池CR2032(2個) |
| • 電池寿命 | 約5カ月(1日8回操作) |
| • 送信周波数 / 出力 | 420MHz 帯 /1mW 以下(電波法適合品) |
| • 動作温度範囲 | −10℃〜+50 ℃ |
| • 外形寸法 | 37(W)×62(H)×15(D)mm(アンテナなど突起部を含まず) |
| • リモコン重量 | 33g(電池含む) |

※仕様や外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

### 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

**●シガープラグコード(1)**
**●センサーユニット用専用電池(1)**
**●リチウム電池 CR2032(2)**
※リチウム電池はリモコンに装着してあります。
**●マジックテープ(1)**
**●粘着マット(1)**
※ VE-S37RS のみ。
**●取扱説明書/保証書(本書)**

### 別売品のお知らせ

**●電源用直結コード OP-20/本体1,500円+税**
シガーライターソケットが常時電源になっている車などで、シガーライターソケットを使わずに、アクセサリ系端子(ヒューズボックス)から直接電源をとる場合に使用します。(OP-20 の他に市販の平型ヒューズタイプ電源取り出しコードが必要です)

**●マグネット取り付け方式ワイヤレス車外サイレン J-11SF/本体9,334円+税**
センサーユニットに連動して音を鳴らします。ボンネット内にマグネットで取り付けし、本体との接続は不要です。

※別売品については、予告なく変更したり、販売を終了する場合があります。あらかじめご了承ください。



## 19 アフターサービスについて

**■ 保証書**

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

**■ 保証期間**

お買い上げの日から1年間です。(電池など消耗部品を除く)

**■ 修理を依頼されるとき**

「こんなときは」(☒ 17 こんなときは?)をよくお読みください。それでも症状の改善がないときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

●保証期間中のとき
恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定にしたがって修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき
取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

**■ アフターサービスなどについてご不明な点は**

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

**■ リモコンを紛失や破損したとき**

リモコンを紛失や破損したときは、新しいリモコンを登録(有償)することができます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

※リモコンは取り寄せ品となるため、ご来店当日の登録ができない場合があります。
あらかじめご了承ください。

### ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

**故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ**

受付時間 9:00〜17:00 月曜日〜金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター　フリーコール 0120-998-036

### 付属品・別売品の追加購入について

・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに 「XX(**機種名**)用○○(**必要な部品**)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

・当社ホームページでご購入頂けるものもございます。
詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
https://spareparts.yupiteru.co.jp/